

様式第5号（教育実習実施計画に関する書類）

教 育 実 習 等 実 施 計 画	
1	教育実習等の内容及び成績評価等
①	<p>教育実習等の時期</p> <p>【共同教員養成課程】</p> <p>小中連携教育コース</p> <p>「初等教育実習Ⅰ」及び「初等教育実習Ⅱ」（小学校教育主免専攻）</p> <p>「中等教育実習Ⅰ」及び「中等教育実習Ⅱ」（中学校教育主免専攻）</p> <p>1） 3年次5月、8月下旬～9月（教育実習（主免実習））</p> <p>2） 3年次9月～11月（教育実習（主免実習））</p> <p>「中等教育実習Ⅰ」（小学校教育主免専攻）</p> <p>「初等教育実習Ⅰ」（中学校教育主免専攻）</p> <p>4年次4月～5月（教育実習（副免実習））</p> <p>教育支援探究コース</p> <p>発達支援専攻</p> <p>「初等教育実習Ⅰ」及び「初等教育実習Ⅱ」</p> <p>1） 3年次5月、8月下旬～9月（教育実習（主免実習））</p> <p>2） 3年次9月～11月（教育実習（主免実習））</p> <p>特別支援教育専攻</p> <p>「障害児教育実習」</p> <p>3年次5月、8月下旬～9月（心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習）</p> <p>「初等教育実習Ⅰ」及び「初等教育実習Ⅱ」</p> <p>1） 3年次9月（教育実習（基礎免実習））</p> <p>2） 4年次4月～5月（教育実習（基礎免実習））</p> <p>【養護教諭養成課程】</p> <p>養護教育コース</p> <p>「中等教育実習Ⅰ」及び「中等教育実習Ⅱ」</p> <p>1） 3年次8月下旬～9月（教育実習）</p> <p>2） 4年次4月～5月（教育実習）</p> <p>「養護実習」</p> <p>1） 3年次5月（養護実習）</p> <p>2） 3年次9月～11月（養護実習）</p>
②	<p>教育実習等の実習期間・総時間数</p> <p>【共同教員養成課程】</p> <p>小中連携教育コース</p> <p>「初等教育実習Ⅰ」及び「初等教育実習Ⅱ」（小学校教育主免専攻）</p> <p>「中等教育実習Ⅰ」及び「中等教育実習Ⅱ」（中学校教育主免専攻）</p> <p>1） 3年次2週間（5月；1週間（30時間））、8月下旬～9月；1週間（30時間）（教育実習（主免実習））</p> <p>2） 3年次2週間（60時間）（教育実習（主免実習））</p>

「中等教育実習Ⅰ」（小学校教育主免専攻）
 「初等教育実習Ⅰ」（中学校教育主免専攻）
 4年次2週間（60時間）（教育実習（副免実習））

教育支援探究コース

発達支援専攻

「初等教育実習Ⅰ」及び「初等教育実習Ⅱ」

- 1) 3年次2週間（5月；1週間（30時間）、8月下旬～9月；1週間（30時間））（教育実習（主免実習））
- 2) 3年次2週間（60時間）（教育実習（主免実習））

特別支援教育専攻

「障害児教育実習」

3年次3週間（5月、1週間（30時間）、8月下旬～9月、2週間（60時間））（心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習）

（※当該科目に含まれる事前事後指導部分については、別記。）

「初等教育実習Ⅰ」及び「初等教育実習Ⅱ」

- 1) 3年次1週間（9月、1週間（30時間））（教育実習（基礎免実習））
- 2) 4年次3週間（90時間）（教育実習（基礎免実習））

【養護教諭養成課程】

養護教育コース

「中等教育実習Ⅰ」及び「中等教育実習Ⅱ」

- 1) 3年次2週間（60時間）（教育実習）
- 2) 4年次2週間（60時間）（教育実習）

「養護実習」

- 1) 3年次1週間（30時間）（養護実習）
- 2) 3年次3週間（90時間）（養護実習）

（※当該科目に含まれる事前事後指導部分については、別記。）

③ 実習校の確保の方法

【共同教員養成課程、養護教諭養成課程】

「初等教育実習Ⅰ」「初等教育実習Ⅱ」、「中等教育実習Ⅰ」、「中等教育実習Ⅱ」

附属小学校、附属中学校、附属幼稚園、附属特別支援学校

協力小学校、協力中学校、協力幼稚園、協力高等学校

「障害児教育実習」〈心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習〉

附属特別支援学校、協力特別支援学校

【養護教諭養成課程】

「養護実習」

附属小学校、附属中学校、協力小学校、協力中学校

・協力小・中学校、高等学校、協力幼稚園、協力特別支援学校については、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会を通じ、実習生数に応じて協力校を確保している。希望者は出身校実習も認めている。

④ 実習内容

【共同教員養成課程】

小中連携教育コース、教育支援探究コース発達支援専攻

「初等教育実習Ⅰ」及び「初等教育実習Ⅱ」（小学校教育主免専攻、発達支援専攻）

「中等教育実習Ⅰ」及び「中等教育実習Ⅱ」（中学校教育主免専攻）

1) 3年次2週間

- ・授業観察、実地授業、指導講話、学級経営、授業研究会、指導案作成、学校行事への参加等

2) 3年次2週間

- ・授業観察、実地授業、指導講話、学級経営、授業研究会、クラブ活動、学校行事への参加等

「中等教育実習Ⅱ」（小学校教育主免専攻）

「初等教育実習Ⅱ」（中学校教育主免専攻）

4年次2週間

- ・授業観察、実地授業、授業研究会、朝会、学校行事への参加等

教育支援探究コース特別支援教育専攻

「障害児教育実習」

3年次3週間（心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習）

- ・授業観察、実地授業、指導講話、学級経営、授業研究会、指導案作成、学校行事への参加等（※事前事後指導については後述）

「初等教育実習Ⅰ」及び「初等教育実習Ⅱ」

1) 3年次1週間

- ・授業観察、実地授業、指導講話、学級経営、授業研究会、指導案作成、学校行事への参加等

2) 4年次3週間

- ・授業観察、実地授業、指導講話、授業研究会、指導案作成、朝会、学校行事への参加等

【養護教諭養成課程】

「中等教育実習Ⅰ」及び「中等教育実習Ⅱ」

1) 3年次2週間

- ・授業観察、実地授業、給食指導、学級活動、掃除指導、授業研究会、朝会、学校行事への参加等

2) 4年次2週間

- ・授業観察、実地授業、給食指導、学級活動、掃除指導、授業研究会、朝会、学校行事への参加等

「養護実習」

1) 3年次1週間

- ・保健管理活動、保健室運営、保健教育、健康相談、学校行事への参加等

2) 3年次3週間

- ・保健管理活動、保健室運営、実地授業、保健教育、健康相談、保健指導、学校行事への参加等（※事前事後指導については後述）

⑤ 実習生に対する指導の方法

共同教員養成課程、養護教諭養成課程

学生の指導…教育実習委員会の主導のもと、学部全教員が実習校の指導教員等との打ち合わせ、学生の指導にあたる。

指導教員の派遣計画…実習期間中に1回以上、教科において実習学校との緊密な連絡をとり、必要に応じ具体的な指導や、実習上の問題について討議しながら実習を進める。

⑥ 実習の成績評価（評価の基準及び方法）

※ 評価項目表、評価シート等がある場合は、本計画書に添付すること。

共同教員養成課程、養護教諭養成課程

実習生の成績評価については、大学で定める様式によって実習校に報告を依頼する。

単位修得の認定は、実習校からの成績評価報告と大学指導教員による実習評価を総合し、教育実習委員会の審議に基づき、教授会で認定する。

2 事前及び事後の指導の内容等

① 時期及び時間数

【共同教員養成課程、養護教諭養成課程】

「事前・事後指導」

事前指導

1年次（6月：4時間、9月：16時間）

2年次（6月：4時間、9月：16時間）

3年次（5月：4時間）

4年次（4月：4時間（副免実習希望者のみ））

事後指導

4年次（11月：2時間（副免実習希望者4時間））

「障害児教育実習」に含まれる事前指導・事後指導

事前指導：3年次（5月：4時間、8月下旬～9月：22時間）

事後指導：3年次（9月：4時間）

【養護教諭養成課程】

「養護実習」に含まれる事前指導・事後指導

事前指導

1) 養護実習Ⅰオリエンテーション：3年次（5月：10時間）

2) 養護実習Ⅱオリエンテーション：3年次（9月：10時間）

事後指導

1) 養護実習Ⅰ報告会：3年次（6月：4時間）

2) 養護実習Ⅱ報告会：3年次（12月：6時間）

② 内容（具体的な指導項目）

【共同教員養成課程、養護教諭養成課程】

「事前・事後指導」

事前指導

教育実習オリエンテーション、附属学校での観察実習・体験実習、指導案・教材の試行的作成、授業演習、授業研究、実習直前の指導講話

事後指導

実習の振り返り、グループ討議、レポート作成

「障害児教育実習」に含まれる事前指導・事後指導

事前指導

教育実習オリエンテーション、指導案・教材の試行的作成、授業演習、授業研究

事後指導

実習の振り返り、グループ討議、レポート作成

【養護教諭養成課程】

「養護実習」に含まれる事前指導・事後指導

事前指導

養護実習オリエンテーション、保健指導の説明、教材作成の説明

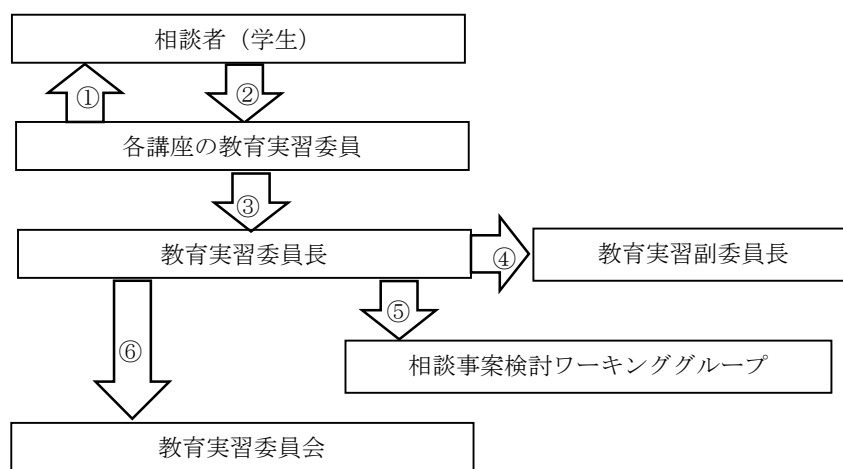
事後指導

実習の振り返り、グループ討議、レポート作成

- ③ 教育実習等におけるハラスメントの防止等に関する学生への指導（相談窓口の周知を含む）及び学内の相談体制等について

教育実習に関する学生相談フローチャートを作成し、教育実習ガイドブックに掲載し周知している。

【フローチャート】



①相談者（学生）は、自分が所属する講座の教育実習委員（以下、委員という）に相談する。

②委員は、相談者の了解を得て、教育実習委員長（以下、委員長という）に報告する。

③委員長は、教育実習副委員長（以下、副委員長という）と協議の上、相談内容に関するワーキンググループ（以下、相談事案検討ワーキンググループと呼ぶ）を設置するかどうかを決定する。なお、同ワーキンググループを設置することになった場合は、座長を委員長が務めることとし、そのメンバーは同委員長が副委員長と協議の上決定する。

④相談事案検討ワーキンググループは、相談内容に関する当事者・関係者に聞き取り調査を実施し、相談事案への対応を検討する。

⑤委員長は、相談事案検討ワーキンググループの検討結果を教育実習委員会で報告する。

⑥委員は、教育実習委員会における検討結果を相談者に報告する。

※なお、相談者の相談内容が緊急を要する場合は、上記手順①～⑥の一部を省略して、臨機応変に対応する。この場合、教育実習委員長は、必要と判断した関係者等と協議することがある。

【委員会の組織図】

熊本大学教育学部教育実習運営協議会

熊本大学教育学部
学部長、副学部長
附属学校園長
附属教育実践総合センター長
教育実習委員長、副委員長

連携

熊本県教育庁
熊本市教育委員会

連携

熊本県小中学校長会
熊本市小学校長会
熊本市中学校長会

4 教育実習の受講資格

3年次実習

第2年次までの教育実習を終了し、かつ第2年次終了までに概ね60単位を修得していること。

4年次実習

学年末に卒業の見込みがあり、第3年次までの教育実習を終了し、かつ第3年次前学期終了時において教養教育、専門教育のそれぞれの科目にわたって合計80単位以上を修得していること。

5 実習校

教育実習	体験活動	学級数の合計	幼稚園5学級、小学校18学級、中学校12学級、特別支援学校9学級		
○	×	学校名	熊本大学教育学部附属小学校（熊本県熊本市中央区京町本丁5-12） 学級数：18 児童数：644人		
		教員数	25人（内訳）教諭22人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
○	×	学校名	熊本大学教育学部附属中学校（熊本県熊本市中央区京町本丁5-12） 学級数：12 生徒数：468人		
		教員数	20人（内訳）教諭19人、養護教諭1人		
○	×	学校名	熊本大学教育学部附属特別支援学校（熊本県熊本市中央区黒髪5-17-1） 学級数：9 児童・生徒数：60人		
		教員数	29人（内訳）教諭27人、養護教諭1人、栄養教諭1人		
○	×	学校名	熊本大学教育学部附属幼稚園（熊本県熊本市中央区城東町5-9） 学級数：5 園児数：91人		
		教員数	5人（内訳）教諭5人		
○	×	教育委員会名	熊本市教育委員会	小学校：92校	中学校：42校
				幼稚園：6園	特別支援学校：2校
○	×	教育委員会名	熊本県教育委員会（教育事務所）	小学校：235校	中学校：127校
				高等学校：50校	特別支援学校：20校
				幼稚園：21園	

熊本大学 教育学部

教育実習成績評価票（附属小学校・協力小学校用）

年度

入学年度	学 生 番 号	学 生 氏 名	コ ー ス (専 攻)	副 専 攻		
実習内容	項 目	項 目 の 主 な 観 点			評 価	
観察・参加	1. 教職員・実習生との協力	教職員からの指導講話や指導助言を積極的に受け入れた。教職員や実習生と協力し、職員作業や授業研究会の準備に参加した。				
	2. 検討会・反省会	授業研究会や反省会に参加し、積極的に意見を述べ、自己評価を行った。その結果を整理するとともに、指導力量の向上に生かした。				
指 導	学 習 指 導	3. 教材研究および準備	事前の教材研究や教材解釈に取り組み、学習活動に必要な教材・教具・資料づくり、板書計画などができた。			
		4. 学習指導案の作成	単元の目標をとらえ、目標達成に向けての学習活動を構想した。発問構想、児童・生徒の応答予想や評価の観点などを踏まえた指導案を作成した。			
		5. 授業展開における指導	説明、発問、板書、環境構成などにおいて、学習活動を豊かにするような工夫がみられた。また、児童・生徒の活動を適切に評価した。			
指 導	生 活 指 導	6. 児童・生徒理解	児童・生徒に挨拶をし、休み時間や委員会や学校行事などにおいて積極的にかかわった。授業中の机間指導で児童・生徒に適切なことばかけを行った。			
		7. 学 級 活 動	学級会、朝の会、帰りの会、係活動、当番活動などにおいて適切な指導をすることができた。			
		8. 学 級 経 営	整理整頓や戸締まりなどの環境設営を行った。児童・生徒の作品やワークシートなどを適切に評価し、取り扱った。衛生面・安全面に留意して給食指導や掃除指導を行った。			
勤務状況	9. 勤 務 状 況	教員としてふさわしい服装・髪型・言葉づかいなどで児童・生徒と接することができた。事前に届けが出ている用件以外での遅刻・欠勤がなく、実習に専念した。				
	10. 報 告 書 ・ 諸 届 け	報告書や諸届けを期日までに提出した。観察したことを整理し、自分なりに観点を絞り、検討会での意見や実習の成果を踏まえて、報告書をまとめた。				
合 計						
実 習 校 所 見	(観点別評価で「1」または「2」がある場合や、評価の合計が30点未満の場合は、必ず、その理由を記載してください。)					
出勤状況	出 勤 日 数	欠 勤 日 数	遅 刻 日 数	早 退 日 数	備 考 (欠勤・遅刻・早退の理由等を記載願います)	
配当学級	学 年	組	上記のとおり相違ないことを証明する			
指導教諭名				年 月 日		
				学 校 名		
				学 校 長 名	職 印	

※「評価」は「項目の主な観点」を参照のうえ、5(秀・優)、4(良)、3(可)、2(不可:劣る)、1(不可:非常に劣る)の評点を記入してください。

熊本大学 教育学部 教育実習成績評価票（附属中学校・協力中学校用） 年度

入学年度	学 生 番 号	学 生 氏 名	コ ー ス (専 攻)	副 専 攻		
実習内容	項 目	項 目 の 主 な 観 点			評 価	
観察・参加	1. 教職員・実習生との協力	教職員からの指導講話や指導助言を積極的に受け入れた。教職員や実習生と協力し、職員作業や授業研究会の準備に参加した。				
	2. 検討会・反省会	授業研究会や反省会に参加し、積極的に意見を述べ、自己評価を行った。その結果を整理するとともに、指導力量の向上に生かした。				
指 導	学 習 指 導	3. 教材研究および準備	事前の教材研究や教材解釈に取り組み、学習活動に必要な教材・教具・資料づくり、板書計画などができた。			
		4. 学習指導案の作成	単元の目標をとらえ、目標達成に向けての学習活動を構想した。発問構想、児童・生徒の応答予想や評価の観点などを踏まえた指導案を作成した。			
		5. 授業展開における指導	説明、発問、板書、環境構成などにおいて、学習活動を豊かにするような工夫がみられた。また、児童・生徒の活動を適切に評価した。			
	生 活 指 導	6. 児童・生徒理解	児童・生徒に挨拶をし、休み時間や委員会や学校行事などにおいて積極的にかかわった。授業中の机間指導で児童・生徒に適切なことばかけを行った。			
		7. 学 級 活 動	学級会、朝の会、帰りの会、係活動、当番活動などにおいて適切な指導をすることができた。			
		8. 学 級 経 営	整理整頓や戸締まりなどの環境設営を行った。児童・生徒の作品やワークシートなどを適切に評価し、取り扱った。衛生面・安全面に留意して給食指導や掃除指導を行った。			
勤務状況	9. 勤 務 状 況	教員としてふさわしい服装・髪型・言葉づかいなどで児童・生徒と接することができた。事前に届けが出ている用件以外での遅刻・欠勤がなく、実習に専念した。				
	10. 報 告 書 ・ 諸 届 け	報告書や諸届けを期日までに提出した。観察したことを整理し、自分なりに観点を絞り、検討会での意見や実習の成果を踏まえて、報告書をまとめた。				
合 計						
実習校見	(観点別評価で「1」または「2」がある場合や、評価の合計が30点未満の場合は、必ず、その理由を記載してください。)					
出勤状況	出勤日数	欠勤日数	遅刻日数	早退日数	備 考 (欠勤・遅刻・早退の理由等を記入願います)	
配当学級	学 年	組	上記のとおり相違ないことを証明する			
学級指導教諭名				年 月 日		
教 科	学 校 名					
教科指導教諭名	学 校 長 名			職 印		

※「評価」は「項目の主な観点」を参照のうえ、5(秀・優)、4(良)、3(可)、2(不可・劣る)、1(不可・非常に劣る)の評点を記入してください。

熊本大学 教育学部

教育実習成績評価票（附属・協力特別支援学校用）

年度

入学年度	学 生 番 号	学 生 氏 名	コ ー ス (専 攻)	副専攻		
実習内容	項 目	項 目 の 主 な 観 点			評 価	
観察・参加	1. 教職員・実習生との協力	教職員からの指導講話や指導助言を積極的に受け入れた。教職員や実習生と協力し、職員作業や授業研究会の準備に参加した。				
	2. 検討会・反省会	授業研究会や反省会に参加し、積極的に意見を述べ、自己評価を行った。その結果を整理するとともに、指導力量の向上に生かした。				
指 導	学 習 指 導	3. 教材研究および準備	事前の教材研究や教材解釈に取り組み、学習活動に必要な教材・教具・資料づくり、板書計画などができた。			
		4. 学習指導案の作成	単元の目標をとらえ、目標達成に向けての学習活動を構想した。発問構想、児童・生徒の応答予想や評価の観点などを踏まえた指導案を作成した。			
		5. 授業展開における指導	説明、発問、板書、環境構成などにおいて、学習活動を豊かにするような工夫がみられた。また、児童・生徒の活動を適切に評価した。			
指 導	生 活 指 導	6. 児童・生徒理解	児童・生徒に挨拶をし、休み時間や委員会や学校行事などにおいて積極的にかかわった。指導にあたって児童・生徒に適切なことばかけを行った。			
		7. 学 級 活 動	学級会、朝の会、帰りの会、係活動、当番活動などにおいて適切な指導をすることができた。			
		8. 学 級 経 営	整理整頓や戸締まりなどの環境設営を行った。児童・生徒の作品やワークシートなどを適切に評価し、取り扱った。衛生面・安全面に留意して給食指導や掃除指導を行った。			
勤務状況	9. 勤 務 状 況	教員としてふさわしい服装・髪型・言葉づかいなどで児童・生徒と接することができた。事前に届けが出ている用件以外での遅刻・欠勤がなく、実習に専念した。				
	10. 報 告 書 ・ 諸 届 け	報告書や諸届けを期日までに提出した。観察したことを整理し、自分なりに観点を絞り、検討会での意見や実習の成果を踏まえて、報告書をまとめた。				
合 計						
実習校所見	(観点別評価で「1」または「2」がある場合や、評価の合計が30点未満の場合は、必ず、その理由を記載してください。)					
出勤状況	出勤日数	欠勤日数	遅刻日数	早退日数	備考(欠勤・遅刻・早退の理由等を記入願います)	
配当学部 学年・組	部	学年	組	上記のとおり相違ないことを証明する 年 月 日		
指導教諭名	学 校 名 熊本大学教育学部附属特別支援学校					
指導教諭名	学 校 長 名 職 印					

※「評価」は「項目の主な観点」を参照のうえ、5(秀・優)、4(良)、3(可)、2(不可:劣る)、1(不可:非常に劣る)の評点を記入してください。

熊本大学 教育学部 教育実習成績評価票（養護教諭養成課程） 年度

入学年度	学 生 番 号	学 生 氏 名	コ ー ス			
			養護教育コース			
実習内容	項 目	項 目 の 主 な 観 点			評 価	
観察・参加	1. 教職員・実習生との協力	教職員からの指導講話や指導助言を積極的に受け入れた。教職員や実習生と協力し、職員作業や授業研究会の準備に参加した。				
	2. 検討会・反省会	授業研究会や反省会に参加し、積極的に意見を述べ、自己評価を行った。その結果を整理するとともに、指導力量の向上に生かした。				
指 導	保健教育	3. 教材研究および準備	教材研究に取り組み、必要な教材・教具・資料づくり、板書計画などができた。児童・生徒の実態に即した指導計画を作成し、適切な指導を行うことができた。			
		4. 集団指導	集団を対象とした保健指導や保健学習を適切に行うことができた。保健日より、掲示物などの保健指導資料を作成し、資料提供を積極的に行った。			
		5. 個別指導	児童・生徒の心身の健康状態や行動を観察・把握し、ニーズに応じた保健指導を、適切に行うことができた。			
	保健管理	6. 対人管理	日常の救急処置を的確に行い、健康観察、健康診断、健康相談活動、疾病・伝染病予防など、児童・生徒の心身の管理に関わる職務を適切に行うことができた。			
		7. 対物管理	校内巡視や安全点検、掃除指導などを積極的に行い、学校環境衛生活動に関わる職務を適切に行うことができた。			
	保健室営	8. 保健室経営	学校教育目標、学校保健計画を踏まえた保健室経営計画を理解し、教職員との連携を図りながら、適切な保健室の管理、運営を行うことができた。			
	勤務状況	9. 勤務状況	教員としてふさわしい服装・髪型・言葉づかいなどで児童・生徒と接することができた。事前に届けが出ている用件以外での遅刻・欠勤がなく、実習に専念した。			
		10. 報告書・諸届け	報告書や諸届けを期日までに提出した。観察したことを整理し、自分なりに観点を絞り、検討会での意見や実習の成果を踏まえて、報告書をまとめた。			
合 計						
実習校所見	(観点別評価で「1」または「2」がある場合や、評価の合計が30点未満の場合は、必ず、その理由を記載してください。)					
出勤状況	出勤日数	欠勤日数	遅刻日数	早退日数	備考(欠勤・遅刻・早退の理由等を記入願います)	
配当学級	学年	組	上記のとおり相違ないことを証明する			
学級指導教諭名			年 月 日			
指導養護教諭名			学校名			
			学校長名	職印		

※「評価」は「項目の主な観点」を参照のうえ、5(秀・優)、4(良)、3(可)、2(不可:劣る)、1(不可:非常に劣る)の評点を記入してください。

熊本大学 教育学部 教育実習成績評価票 (附属幼稚園・協力幼稚園用)

年度

入学年度	学 生 番 号	学 生 氏 名	コ ー ス (専 攻)	副 専 攻		
実習内容	項 目	項 目 の 主 な 観 点			評 価	
観察・参加	1. 教職員・実習生との協力	教職員からの指導講話や指導助言を積極的に受け入れた。教職員や実習生と協力し、職員作業や保育研究会の準備に参加した。				
	2. 検討会・反省会	保育研究会や反省会に参加し、積極的に意見を述べ、自己評価を行った。その結果を整理するとともに、指導力量の向上に生かした。				
指 導	保 の 育 指 導 内 容	3. 教材研究および準備	事前の教材研究や教材調査に取り組み、保育に必要な教材・教具を選択し、適切な環境の構成と教材の準備を行った。			
		4. 保育指導案の作成	保育のねらいに向けての保育内容を構想した。幼児の発達を適切にとらえた指導案を作成した。			
		5. 保育展開における指導	保育の内容やねらいを理解し、環境の構成や援助を行い、豊かな保育展開になるような工夫が見られた。			
指 導	生 活 指 導	6. 幼 児 理 解	幼児一人一人の内面を理解し、幼児の願いや思いに沿った適切な助言や人権意識をもった援助を行った。発達を読み取り、見通しをもった指導を行った。			
		7. 生活に関わる事柄	幼児の発達に応じた身辺自立にかかわる丁寧で細やかな指導を行った。			
		8. 環 境 の 整 備	整理整頓や戸締まりなどの環境設営を行った。衛生面・安全面に留意して環境を整えた。清潔で隅々までいきとどいた配慮のある環境を構成した。			
勤務状況	9. 勤 務 状 況	教員としてふさわしい服装・髪型・言葉づかい・態度などで幼児と接することができた。事前に届けが出ている用件以外での遅刻・欠勤がなく、実習に専念した。				
	10. 報 告 書 ・ 諸 届 け	報告書や諸届けを期日までに提出した。観察したことを整理し、自分なりに観点を絞り、検討会での意見や実習の成果を踏まえて、報告書をまとめた。				
合 計						
実習校所見	(観点別評価で「1」または「2」がある場合や、評価の合計が30点未満の場合は、必ず、その理由を記載してください。)					
出勤状況	出勤日数	欠勤日数	遅刻日数	早退日数	備 考 (欠勤・遅刻・早退の理由等を記入願います)	
配当学級	年保育	歳児	組	上記のとおり相違ないことを証明する 年 月 日		
指導教諭名				学 校 名	熊本大学教育学部附属幼稚園	
				園 長 名	職 印	

※「評価」は「項目の主な観点」を参照のうえ、5(秀・優)、4(良)、3(可)、2(不可:劣る)、1(不可:非常に劣る)の評点を記入してください。

令和 6 年 11 月 13 日

教育実習受入れ承諾書

国立大学法人熊本大学長 殿

熊本大学教育学部附属幼稚園長

鈴木 麻子 公印



熊本大学学生の教育実習について、受入実習校として協力することを承諾します。

令和 6 年 11 月 13 日

教育実習受入れ承諾書

国立大学法人熊本大学長 殿

熊本大学教育学部附属小学校長

塩 村 勝 典 公印



熊本大学学生の教育実習について、受入実習校として協力することを承諾します。

令和 6 年 11 月 13 日

養護実習受入れ承諾書

国立大学法人熊本大学長 殿

熊本大学教育学部附属小学校長

塩 村 勝 典 公印



熊本大学学生の養護実習について、受入実習校として協力することを承諾します。

令和 6 年 11 月 20 日

教育実習受入れ承諾書

国立大学法人熊本大学長 殿

熊本大学教育学部附属中学校長

松 島 孝 司 公印



熊本大学学生の教育実習について、受入実習校として協力することを承諾します。

令和 6 年 11 月 20 日

養護実習受入れ承諾書

国立大学法人熊本大学長 殿

熊本大学教育学部附属中学校長

松 島 孝 司 公印



熊本大学学生の養護実習について、受入実習校として協力することを承諾します。

令和 6 年 11 月 26 日

教育実習受入れ承諾書

国立大学法人熊本大学長 殿

熊本大学教育学部附属特別支援学校長

小 田 浩 三



熊本大学学生の教育実習について、受入実習校として協力することを承諾します。

令和 6 年 11 月 19 日

教育実習受入れ承諾書

国立大学法人熊本大学長 殿

熊本市教育長

遠 藤 洋 路



熊本大学学生の教育実習について、受入実習校として協力することを承諾します。

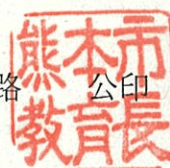
令和 6 年 11 月 19 日

養護実習受入れ承諾書

国立大学法人熊本大学長 殿

熊本市教育長

遠 藤 洋 路



熊本大学学生の養護実習について、受入実習校として協力することを承諾します。

令和 6 年 11 月 22 日

教育実習受入れ承諾書

国立大学法人熊本大学長 殿

熊本県教育長

白石 伸一



熊本大学学生の教育実習について、受入実習校として協力することを承諾します。

令和 6 年 11 月 22 日

養護実習受入れ承諾書

国立大学法人熊本大学長 殿

熊本県教育長

白石 伸



熊本大学学生の養護実習について、受入実習校として協力することを承諾します。